

第12回日本核医学会総会開催のご挨拶

第12回日本核医学会総会はこの秋10月2日、3日京都市において開催の運びとなりました。

全国各地から遠路御参会される会員各位に主催者として心から歓迎の意を表します。

本会も創立後はや11年を経過し、幾多の秀れた研究を国内はいうに及ばず、国外にも示し、医学の発展に貢献してきました。更に一層の発展が要望されるこの時期に微力ながら総会のお世話をさせていただくことを光栄に思っております。

今回は会員各位の熱意により、演題総数 221 題という多数の応募を頂いたことは幸いです。

またシンポジウムとして「肝疾患の RI 診断」「循環器の動態解析」「悪性腫瘍の RI 診断」の三題を取り上げましたが、前年と同様公募いたしましたところ、非常に多数の演題をいただきましたので、プログラム委員会におはかりして一部を一般演題に変更いたしました。

国際核医学会が結成され、一層世界的レベルの研究が続出する気運にありますが、このときにあたり、今回の総会もその内容を高め、明日への貢献を果すような実りあるものになることを願っております。

微力な私どもではありますが、本学会の発展に、本総会の運営に最大の努力をいたす決意であります。会員の皆様方のご協力をもちまして成功裡に遂行できますよう切にお願い申し上げます。

昭和 47 年 9 月

第12回日本核医学会総会会長

増 田 正 典